

令和2年度 学校マネジメントシート（最終報告）

学校名（ 木本高等学校 定時制 ）

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		<ul style="list-style-type: none"> ○自分の良さを伸ばしながら、目標や夢の実現に向けて努力を続ける生徒を育成します。 ○地域に誇りを持ち社会に役立つ人を育み、「地域に信頼される学校」をめざします。
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ○自分への自信と誇り、他者への思いやりの心と規範意識を持ち、学習に積極的に取り組む生徒。 ○地域に誇りや愛着を持ち、地域に信頼され、地域に貢献する力を持った生徒。
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> ○目指す学校像の実現に向け、連携の意識と向上心を持ち、自分の良さを活かして仕事をする教職員。 ○生徒の状況を理解し、それぞれの生徒に合わせた一人ひとりを大切にする指導をする教職員。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<ul style="list-style-type: none"> ○生徒・保護者 仕事や家庭と学校生活を両立しながら安心して学習し、学力と社会性を身につけ、高校卒業資格を得たい。 ○地域社会 すべての生徒が安心して学べる場を確保し、地域に貢献する人材を育ててほしい。 ○進路先 基礎学力、コミュニケーション力、自主性、規範意識を持った人材を育ててほしい。 	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待		<p style="text-align: center;">連携する相手からの要望・期待</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保護者 学力と社会性を身につけ、高校卒業資格を取らせたい。 ○中学校 多様な生徒の学びの場として、一人ひとりを大切にする教育を行ってほしい。 ○地域社会 すべての生徒の学ぶ場を確保する意味でも、教育活動を継続してほしい。 	<p style="text-align: center;">連携する相手への要望・期待</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保護者 緊密な連絡・協力体制づくりに協力してもらいたい。 ○中学校 生徒に関する情報提供等、指導への支援、協力をしてもらいたい。 ○地域社会 外部講師、情報提供等、教育活動への支援、協力をしてもらいたい。
(3) 前年度の学校関係者評価等		<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒一人ひとりを大切に、生徒個々の状況に適した指導をしてもらいたい。 ・ 地域の良さを知り、地域で活躍する意欲と力をもった生徒を育ててほしい。 ・ 体験型学習を取り入れることにより、生徒の能力を引き出してほしい。 	
(4) 現状と課題	教育活動	<p>様々な課題、背景をもつ生徒が学んでおり、生徒一人ひとりに合わせた丁寧できめ細かい指導が必要である。また、生徒の約 1/3 が転編入であり、在学期間が短く、学校への帰属意識や仲間意識が低い生徒も多い。</p> <p>学習・修学意欲の喚起、基礎学力の定着とともに、安全・安心な学習環境の確保と集団への帰属意識・仲間づくりの取組もすすめる必要がある。</p>	
	学校運営等	<p>生徒、教職員ともに少人数で、生徒一人ひとりに合わせた教育活動を行いやすいが、集団として活動し、社会性を育むには工夫が必要である。また、指導等が教職員個々の経験や力量に頼る部分が多く、指導を全体で統一したり連携したりする意識と、外部からの情報を積極的に取り入れ改善をすすめる意識を強く持つことが必要である。</p>	

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習・修学意欲を高め、基礎学力の定着を図り、生徒の進路希望実現を目指します。 ○ 学校や社会で生活するために大切な規範意識と社会性を育みます。 ○ 様々な教育活動を通して、本校への帰属意識と仲間意識が醸成されるよう働きかけます。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒一人ひとりを大切にする教育活動を充実する体制をつくります。 ○ 地域との交流や地域の声を聞く機会を持つなど、開かれた学校づくりを目指します。 ○ 業務の効率化を図り、職員の健康管理面に配慮し、総勤務時間の縮減を図ります。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

項目	取組内容・指標	結果	備考
命を大切にする教育と生活習慣の育成	<p>【命を大切にする教育】</p> <p>(1) 生徒一人ひとりの状況を把握し、教員間で共有します。 (取組状況の指標：個人面談等の実施、会議等での情報共有)</p> <p>(2) 生徒の「命を大切にする心」を育みます。 (取組状況の指標：講話、講演会等の実施)</p> <p>【生徒指導】</p> <p>(1) 授業規律やマナーの徹底に努めるために、毎日の登校指導を行います。 (取組状況の指標：定期的な登校指導の実施)</p> <p>【学級指導】</p> <p>(1) 感性に訴えかけることを主眼において、人権学習をすすめます。 (取組状況の指標：身近に感じられる人権学習の実施)</p> <p>【保健・安全】</p> <p>(1) 健康について啓発をすすめるため、保健だよりを発行し、保健指導を行います。 (取組状況の指標：保健だよりを年6回発行)</p> <p>(2) 校内の安全面からの巡視を行います。 (取組状況の指標：校内巡視の実施)</p>	<p>【命を大切にする教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別面談を、計7回実施(4,6,7,9,10,12,3月) ・ 毎日の打ち合わせや各職員会議で、生徒情報等を共有 ・ 「たとえぼくに明日はなくとも」を教材にして道徳教育を実施(6/16) <p>【生徒指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日、全職員が協力して登校指導を実施 <p>【学級指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジョンレノンの「イメージ」を教材にして人権学習を実施(9/16) <p>【保健・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健だよりを計7回配付し、説明・指導 ・ 毎日、全職員が協力して校内巡視を実施 	<p>◎</p> <p>◎</p>
キャリア教育の充実	<p>【進路指導】</p> <p>(1) 生徒一人ひとりの適性や希望を考慮しつつ、小規模校の強みを生かして、きめ細かな進路指導を行います。 (取組状況の指標：ハローワーク・全日制進路指導部と連携し、生徒個々に面談を実施)</p> <p>(2) 生徒の職業意識を高めるとともに、求人情報の提供や進路相談を通して、就労への意識を高めます。 (取組状況の指標：求人広告の掲示、ハローワーク・全日制進路指導部との連携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別面談等を通じて、本人・保護者の意思を確認しながら就職指導(希望者2/2人内定) ・ 卒業生の就業先を訪問し、状況把握と激励(7/1) ・ 外部講師による就職ガイダンスを実施(6/30) 	

学習指導の充実	【教科等指導】 (1) 生徒の基礎学力の定着のため、教育課程や授業内容の工夫と改善をはかるとともに、適切な学習目標を生徒と共有しながら、目標達成のための指導を行います。 (取組状況の指標：公開授業、教員間の授業相互評価の実施) (2) 単位制・定通併修などの制度について、生徒・保護者への周知をはかります。 (取組状況の指標：生徒・保護者向けアンケートの実施) (3) 統一した授業改善の取組を行います。 (取組状況の指標：統一テーマに沿って全教職員が取り組み、その成果を全教職員で共有)	<ul style="list-style-type: none"> 各教科等の目標や具体的な学習活動を分かりやすく説明しながら指導 個別面談の機会に、定通併修制度について説明し、希望聞き取り 生徒ニーズアンケートを実施し、結果分析と今後の方向性を共有 (7,9,12,3月) 	
帰属意識の育成	【教科等指導】 (1) 総合的な探究・学習の時間や学校行事等を活用し、本校生徒としての誇りを育てます。 (取組状況の指標：生徒の参加数が増加) (2) 長期休業期間に進学指導等の教育活動を実施します。 (取組状況の指標：進路別の対策授業の実施)	<ul style="list-style-type: none"> 本校定時制の歴史について学習(6/2) 遠足には1年生8人中6人が参加(7/4) ワープロ検定に挑戦する生徒(2人)を支援 漢字検定に挑戦する生徒(1人)を支援 	
改善課題			
命を大切にする教育と生活習慣の育成を起点にしながら、キャリア教育や学習指導の充実に取り組んでいるが、生徒の成長の基盤となる自己肯定感を高めていく必要がある。			

(2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
教職員の資質向上・チームワークの向上	(1) 法令遵守、信頼向上の意識を高めます。 (取組状況の指標：法令遵守の校内研修を年3回以上実施) (取組状況の指標：毎回の職員会議で校外の事例を共有) (2) 教員間の情報交換会を実施します。 (取組状況の指標：毎日の打合せ、職員会議等で情報交換を実施)	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の打ち合わせや各職員会議で、生徒情報や教育関連動向、校外事例等を共有 	◎
地域との信頼関係の深化	(1) 中学校との連携を深め、地域へ積極的に情報発信します。 (取組状況の指標：新規入学生の出身中学訪問の実施) (取組状況の指標：地元紙への情報提供) (取組状況の指標：授業公開、学校見学会の実施)	<ul style="list-style-type: none"> 入学希望者及び保護者・関係者が授業見学し、説明・相談を実施 (9/15,2/10のべ2件) 入学検討中の社会人に学校案内等の資料を送付(9/23) 授業公開を実施 (11/4～11/10) 転編入希望者及び保護者への説明・相談を実施 (2/16,2/24,3/3,3/18,3/19のべ5件) 	

保護者との連携、学校の帰属意識の育成	【生徒・保護者面談】 (1) 計画的に保護者（生徒）面談を実施します。 （取組状況の指標：担任による保護者（生徒）面談の実施）	・ 生徒及び保護者との個別面談を、計7回実施 (4,6,7,9,10,12,3月) また、一部生徒・保護者には、追加実施	
働きやすい職場環境	(1) 業務の効率化を図り、休暇取得を促進し、総勤務時間を削減します。 （取組状況の指標：1人あたりの休暇取得1日/年増） （取組状況の指標：時間外労働 1h/月・人(←20h/年・人)以内） （取組状況の指標：60分以内に終了する会議の割合 100%）	・ 1人あたりの年休取得平均 24.2日(3月末) (昨年2月末 21.1日) ・ 時間外労働1h/月以内 5人、20h/年以内5人 (3月末) ・ 職員会議は、15回のうち14回が60分以内で終了(93%)	

改善課題

生徒一人ひとりの課題や背景がさらに多様化し、日々の状況把握と情報共有が必要不可欠であるため、教員定数を確保するとともに、生徒の変化に気づけるよう教職員の感度を高めていく必要がある。

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	①引き続き、生徒個々の状況に適した指導をしてもらいたい。 ②生徒の主体性を発揮できるような学習を推進してもらいたい。 ③県の教育行政主導のもと、教職員の働き方改革を推進してもらいたい。
----------------------------	--

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	①生徒の自己肯定感を育み、就学意識と学習意欲を高める指導の充実に取り組む。 ②生徒個々の状況把握に努め、一人ひとりの良さを引き出し伸ばす指導に取り組む。
学校運営についての改善策	①中学校との連携等を通じて定時制に対する地域の理解を深めることで、入学生を確保するとともに、教職員の協働や働き方改革に取り組む。